M3 Sky 取扱説明書

本製品をご利用になる前に、本書の
「取扱上のご注意」をお読みのうえ、
正しくご使用ください。

なお、取扱説明書（本書）はM3モバイルのホームページからもダウンロードできます。

はじめに

- 本取扱説明書の現状のまま提供されるものであり、内容は予告なく変更される場合があります。
  また、場合によっては技術的特徴の説明が困難なため、内容の間違い及び記載洩れを含む場合があります。
- (株)M3モバイルは、本取扱説明書に関して、その機能、品質、特定目的との適合性等を含む全てを保証するものではありません。
- M3 SKY以外から提供されたアプリケーションプログラムを使用している場合は、各所有プログラムの取扱説明書を参照してください。
- 各アプリケーションプログラムの提供社は製品の箱、又はプログラムにM3SKYに関するカスタマーサービス連絡先を記載する義務があります。
- (株)M3モバイルは、M3SKYが工場から発送された後にインストールされた第三者のプログラムによって起こった欠陥や故障の責任は一切負いません。

著作権

- 本取扱説明書は著作権及び著作隣接権にて保護されています。
- (株) M3モバイルの許可なく取扱説明書の内容の全部、または一部を複製、改ざん、翻訳することは禁止されています。
- (株)M3モバイルは携帯電話会社の要請に応えるため、各プログラムの提供元に保証を義務付ける権利があります。
- 取扱説明書の内容は著作権法で保護されています。(株)M3モバイルの了解なく、取扱説明書の内容を複製、製版、配布することは違法です。
- Windows、Microsoft Office、Outlook、ActiveSync、Internet ExplorerはMicrosoftの登録商標です。
- Microsoft、ActiveSync、Windows、Windows ロゴ、Windows Mobile 6.1 ロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Microsoft OEM製品はMicrosoft Corporationの子会社のMicrosoft Licensing Inc.によってライセンス供与されています。
- M3SKYは(株)M3モバイルの登録商標です。
- 本書に記載されているその他の製品名、サービス、商標、および登録商標は各所有企業に帰属します。

M3 SKY取扱上のご注意(1)

● 使用上の注意

・携帯電話SIMカードを装着した状態で本体を紛失、又は盗難にあった場合は直ちに携帯電話会社にお知らせください。

・許可を得ずに第三者への貸し借りを行うことは禁止されています。

・運転中のご利用はお控えください。

・技術的なサポートが必要な場合、最寄のサービスセンターにご連絡ください。

・本体とインストールされている基本プログラム以外のアプリケーションやプログラムの質問は各提供者へご連絡ください。

・(株)M3モバイルが供給したアダプターとアクセサリーをご使用ください。

・(株)M3モバイル以外から供給された電池、充電器、アクセサリーを使用中に起こった故障については保証対象外となります。

● 持ち運びと保管上の注意

・高温や高湿度の環境でのご使用はお控えください。本体が損傷する場合があります。
・高いところから落とさないようご注意ください。本体が損傷する場合があります。
・初回使用の前に電池を完全に充電してください。

M3 SKY取扱上のご注意(2)

- 改造は行わないでください。
  - ･M3SKYの改造は行わないでください。
  - ･本体の炎上、感電につながる可能性があります。
  - ･改造によって起こった故障は保証対象外となります。

- 携帯電話SIMカードの違法コピーは禁じられています。
  - ･携帯電話SIMカードの違法コピーの生産、使用は犯罪です。
  - ･紛失、又は盗まれた携帯電話SIMカードの保有は犯罪とみなされます。

サイズ及び機能

周波数帯	WCDMA : 2100 / GSM 850 (TX) 824 ～ 849 MHz / (RX) 869 ～ 894 MHz WCDMA : 1900 / GSM 900 (TX) 880 ～ 915 MHz / (RX) 925 ～ 960 MHz WCDMA : 850 / GSM 1800 (TX) 1710 ～ 1785 MHz / (RX) 1805 ～ 1880 MHz GSM : 1900 (TX) 1850 ～ 1910 MHz / (RX) 1930 ～ 1990 MHz
帯域幅	200 KHz (GSM) / 5MHz (3G)
サイズ	78.6 x 163.5 x 24.9mm (Width x length x height)
重量	320g
動作温度	-20 ℃ ～ 60 ℃
保管温度	-30 ℃ ～ 70 ℃
湿度	90%
AC電源	入力 : AC 100 ～ 250V, 50 ～ 60Hz 出力 : DC +5.2V, 3.0A

⚠ アンテナによってサポートされている周波数帯が変わる場合があります。

目次

目次

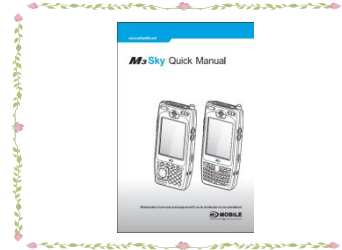
1. 基本説明

- 箱の中身の確認
- 各部の名称と機能
- 入力ボタン
- ソフト・ハードリセット
- スタイラスペンの使用
- LED、電池の取り外し
- 充電
- PCとの接続

箱の中身の確認(1)

- 箱を開封したら下記に表記されている部品がそろっているか確認してください。

本体＋バッテリー2個

クレードル＋USBケーブル

クイックマニュアル

マイク付きイヤホン
＋スタイラスペン3本
＋ストラップ1本

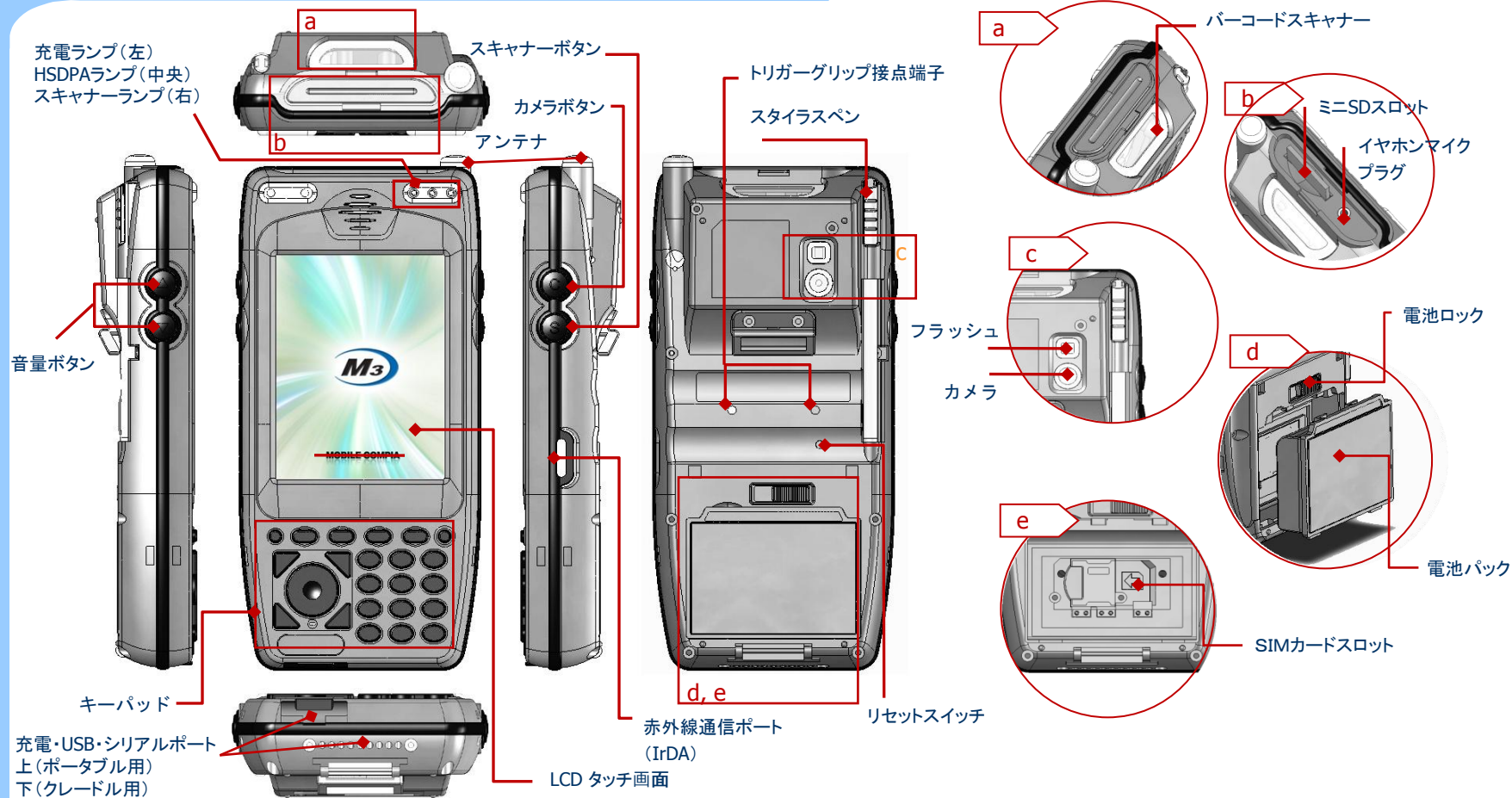
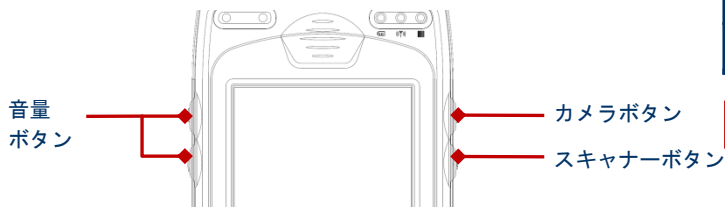
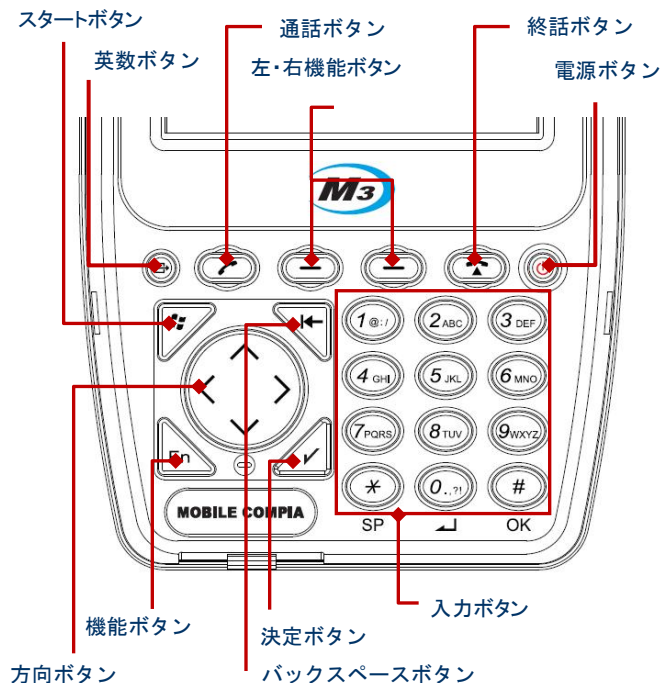
アダプター
ACコード

⚠ 製品構箱の中身は商品構成によって異なる場合があります。

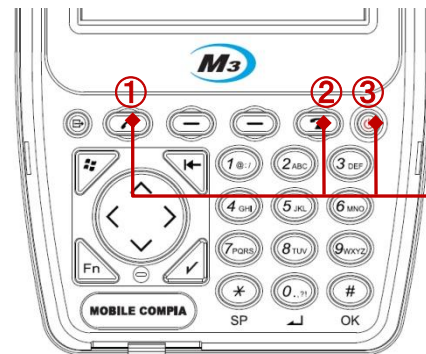
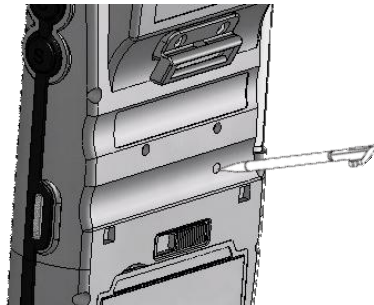
箱の中身の確認(2)

- 取扱説明書の使い方
  - 本書はM3SKYをより早く、より簡単に使用できるように詳細な説明を提供しています。
  - 本書に記載されている通話やコミュニケーション機能はM3SKYにHSDPAモジュールが装着され、通話・データプランに入っていることを前提としています。
  - オプション機能が付属されていない場合、本書に記載されている機能は使用できない場合があります。(HSDPA、WLAN、Bluetooth、赤外線通信、スキャナー、カメラ、RFID、GPS)
  - 取扱説明書の内容は、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。

各部の名称と機能

基本説明

入力ボタン

各部名称	機能
電源ボタン	電源ON・OFF
	長押しでメニューを開く(バックライト、表示など)
通話ボタン	通話を受ける・通話を開始する
終話ボタン	通話を終了する・通話を拒否する
入力ボタン	英数を入力する
左・右機能ボタン	設定された機能・アプリケーションを立ち上げる
英数ボタン	英数入力を切り替える
スタートボタン	スタートメニューを開く
バックスペースボタン	バックスペース
機能ボタン	(*、0、#)等と押しコマンド入力を行う
方向ボタン	上、下、右、左へ移動する
決定ボタン	ENTER
スキャナーボタン	バーコードスキャナー起動
カメラボタン	写真とビデオ画面を起動
音量ボタン	上:音量を上げる・下:音量を下げる

⚠ オプションによって上記の操作がサポートされていない場合があります。

ソフト・ハードリセット

①+②を押しながら
③を押します

● ソフトリセット

- ソフトリセットを行うことで、本体の再起動にあたる動作を行います。
- 本体を再起動させ、メモリーの割り当てを解放します。
- ソフトリセットで保存済みの履歴や入力された項目等は消えません。
- ソフトリセットを行ったときに起動中のプログラムの保存前のデータは消失する場合があります。

● ハードリセット

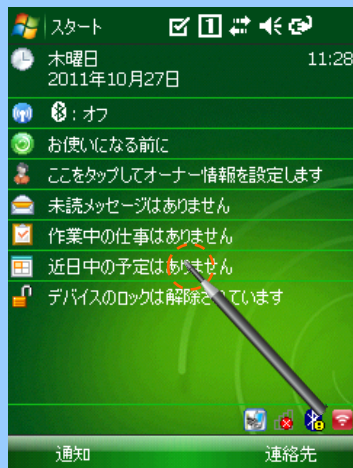
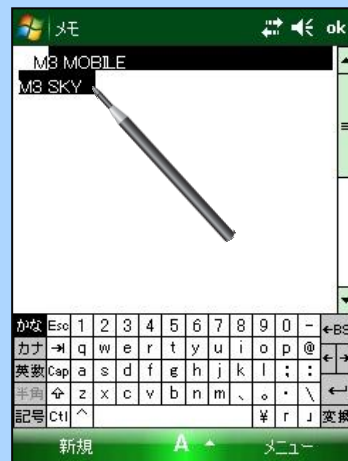
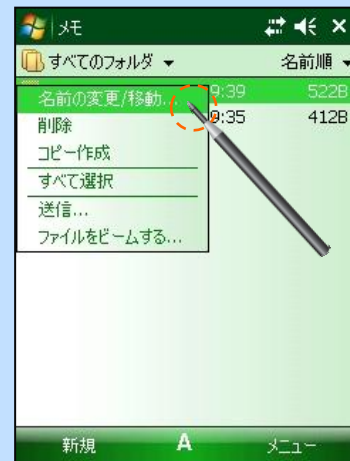
- ハードリセットを行うと、本体の電源供給が切られます。
- ハードリセットを行うと、全履歴、入力項目、追加インストールされたプログラム等は消去され、本体を初期状態に戻します。
- ソフトリセットで問題が解決できない場合のみハードリセットを行ってください。

● **ハードリセットの仕方**：

→電源ボタンを7秒以上押して電源を落とす。（液晶の消滅で電源OFFを確認できます）
→通話と終話ボタンを押しながら電源ボタンを押してください。
→「CLEAN BOOT WARNING」の画面に入り、「Flash Disk以外の全てのデータが消去されます。ハードリセットしますか？」と表示されます。
"1. YES(はい)、0. NO(いいえ)"のメッセージがでます。1を押すとハードリセットが開始されます。

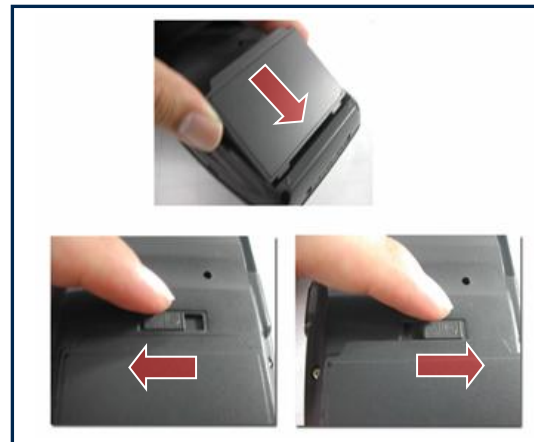
⚠ ハードリセット後、日付、時間、時間帯の設定を行ってください。

スタイラスペンの使用

- **タッチ**
  スタイラスペンを使ってタッチ画面を
  一回タッチするとファイルやプログラム
  を実行することが出来ます。

- **スライド**
  テキストや文字などを選択すること
  が出来ます。
  選択したい部分をスタイラスペンで
  スライドさせて選択してください。

- **長押し**
  スタイラスペンを使って画面を長押しす
  ることで、画面のポップアップメニュー
  を選択することが出来ます。
  又、ポップアップメニューの項目の選択
  も可能です。
  起動しているプログラムによってポップ
  アップメニューの内容は異なる場合が
  あります。

LED表示、電池の取り外し

- LED表示
  - 充電、通信、スキャナーの状態を表示する。

タイプ	LEDの状態	説明
充電 LED	赤 緑	充電中 充電完了
HSDPA LED	青の点滅	HSDPAのスタンバイ中 (通話・インターネットの範囲内)
	青	HSDPAの使用中 (通話、ショートメッセージ、インターネット)
	青がついていない	HSDPAは消されている、又は範囲外
スキャナー ＬＥＤ	緑	バーコードのデータの読取に成功した

- 電池の取り外し
  - 電池を取り付ける
    下図のように、電池パックを本体背面に入れ、電池ロックを左に固定してください。
  - 電池を外す
    電池ロックを右に戻し、上のスイッチを使って電池パックを本体から外します。

充電

- 充電器の接続部分を本体の充電端子、又はクレードルの電源端子に接続してください。
- 充電中のLED表示

タイプ	LEDの状態	説明
本体に直接接続	赤 緑	充電中 充電完了
クレードルで充電	赤 緑	充電中 充電完了
予備電池パックの充電	赤 緑	充電中 充電完了

- 充電中の電池パックの状態は本体の右上にあるLEDで確認することができます。また、予備の電池パックの状態はクレードルの右下のLEDで確認することができます。

- クレードルで充電

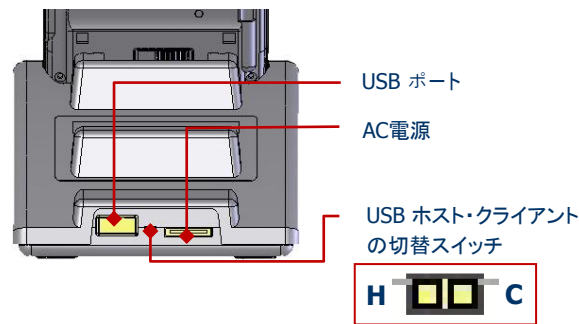
- 充電器を使って充電

⚠ 付属されている電池パック(5.2V/3A)以外は使用しないでください。
⚠ 乱暴に扱わないでください。乱暴に扱って発生した故障の場合、保証範囲の中に含まれない場合があります。
⚠ 間違った電池パックを使用した場合、爆発する可能性があります。
古い電池パックの廃棄は説明書に指示されているとおりに行ってください。
⚠ 電池パックの電源が完全に切れた場合、充電器を本体に差込みリセットして、画面が表示されるか確認してください。使用する前に最低10分以上充電してください。

PCとの接続

- クレードルは充電とUSBでの接続をサポートしています。
  クレードルの接続手順は下記のとおりです。
  - 充電器の24ピンコネクターをAC電源に接続してください。
  - 充電器のACコードを壁のコンセントに接続してください。
  - クレードルに接続されているUSBケーブルの他方をPCのUSBポートに接続してください。
  - 本体をクレードルに差込み、PCとのシンクロを行ってください。
- PCのUSBポートはPCの前、後ろ、横のどこかに位置に配置されています。又、デスクトップ、ノートブック、両方ともUSBポートの形状は同じです。
- USBホスト･クライアントの切替スイッチで、PCと本体のホスト･クライアントの切替が可能になります。

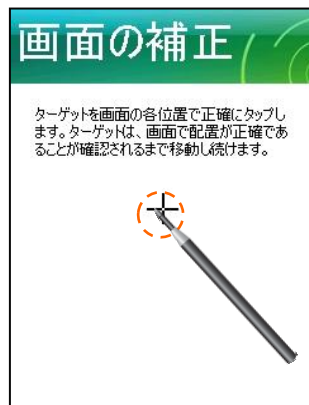
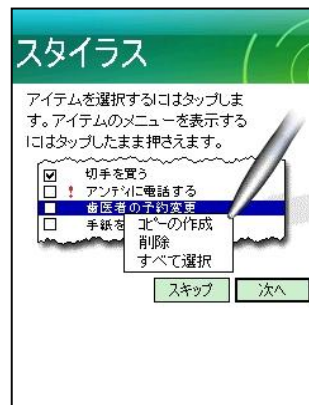
クレードルの接続

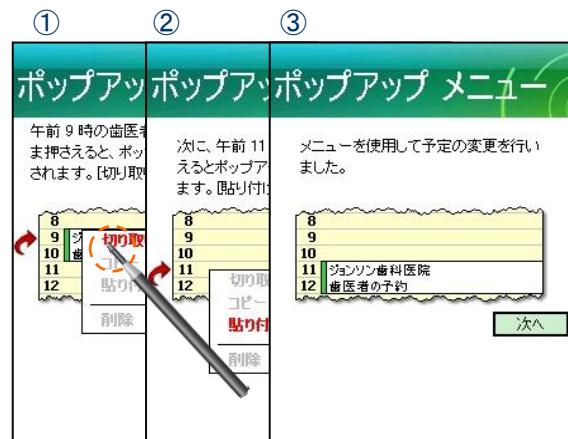
基本説明

2.基本的な操作

- 設定･調整
- メイン画面
- 入力画面

設定・調整（1）

● 最初に使用するときや、ハードリセットを行った後は下記のようにタッチ画面の設定・調整を行ってください。

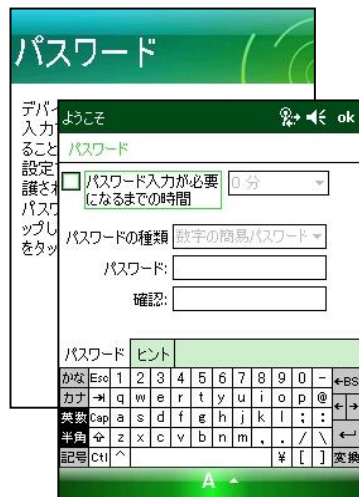
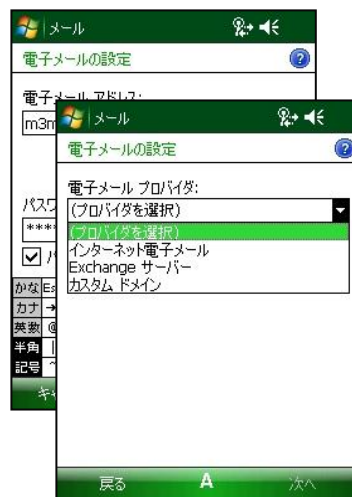
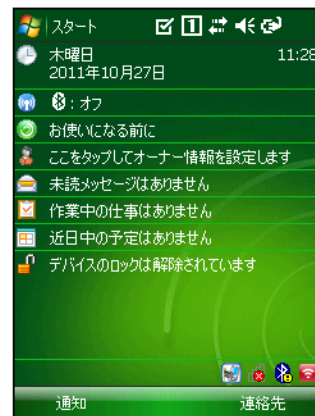
上図画面をスタイラスペンで
1回タッチしてください。

ターゲット[＋マーク]をスタイラスペンで正確にタッチしてください。

必要に応じて、画面の指示に従って操作を進めてください。必要でなければスキップしてください。

①　②　③

①スタイラスペンで画面枠内を長押ししてポップアップメニューの「切り取り」を選択してください。
②スタイラスペンで画面を長押ししてポップアップメニューの「貼り付け」を選択してください。
③全てが終わったら「次へ」を押してください。

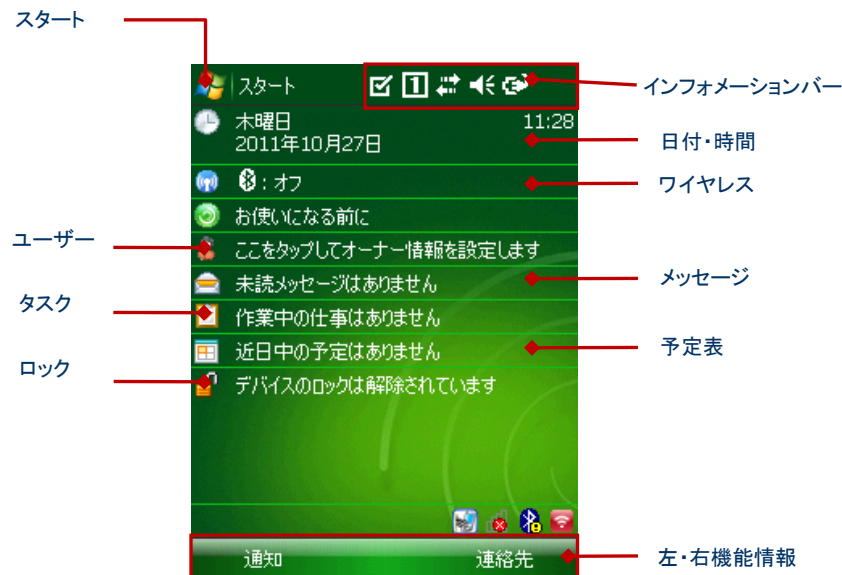
基本的な操作

設定・調整(2)

- 設定・調整の続き

タイムゾーン、日付、時刻を設定してください。

パスワードを設定する場合は「次へ」、しない場合は「スキップ」を選択してください。

パスワードを入力する場合は「パスワードの種類」と「パスワード」を入力してください。

電子メールアカウントを設定する場合は「次へ」、しない場合は「スキップ」を選択してください。

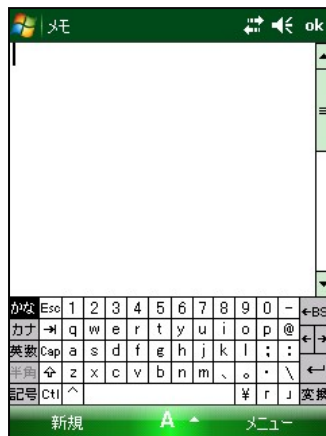
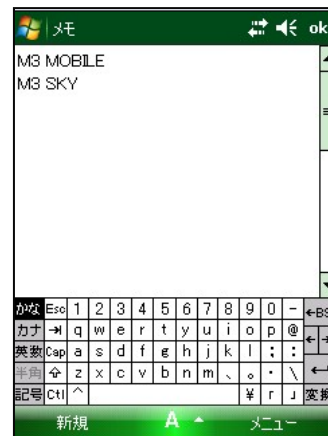
メイン画面

- メイン画面
  - メイン画面は下記のように構成されています。

ボタン	説明
スタート	使用したいプログラムを選択してください。
インフォメーションバー	電源、モデム、音声、入力モード、 接続状態を表示する。
日付・時間	日付と時間を表示する。
ワイヤレス	ワイヤレスの状態を表示する。
ユーザー	個人情報を表示する。
メッセージ	受信したメッセージ情報を表示する。
タスク	タスク情報を表示する。
予定表	予定表情報を表示する。
ロック	画面ロック情報を表示する。
左・右機能情報	左・右機能の情報を表示する。

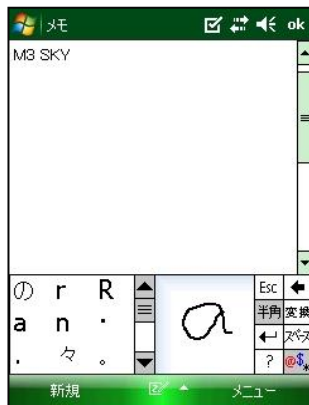
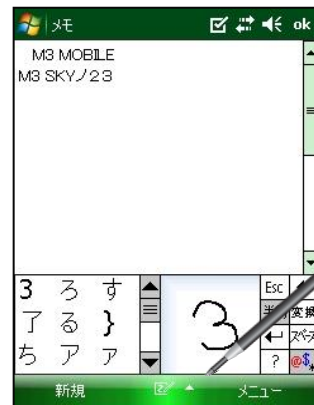
入力画面（1）

- 入力方法
  - 「スタート」＞「プログラム」＞「Office Mobile」または「メモ」を立ち上げてください。

- ローマ字/かな入力

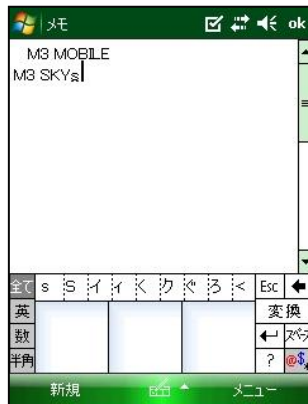
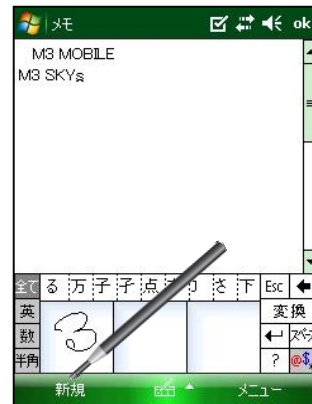
画面下段の「A▲」をタッチして「ローマ字/かな」を選択してください。

入力キーパッドが表示されます。

キーボード入力画面のアイコンをタッチすることで文字、数字、符号を入力することが出来ます。

● 手書き検索の仕方

画面下段の「A▲」をタッチして
「手書き検索」を選択してください。

入力ボックスに入力したい文字を
書き込みます。
候補ボックスに候補の文字が表示
されます。

上下の矢印をタップして入力しようと
した文字を文字をタップしてください。
挿入ポイントに表示されます。

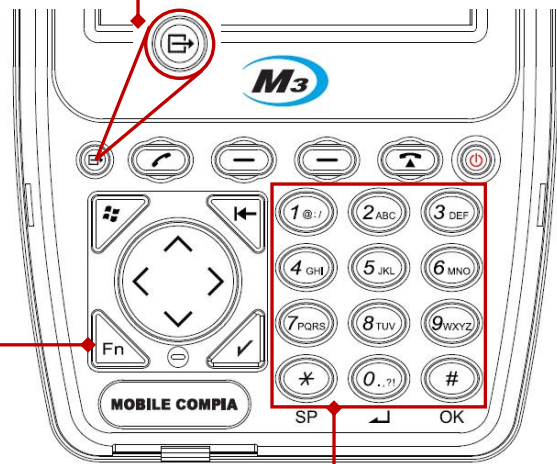
入力画面(3)

- 手書き入力の仕方

画面下段の「A▲」をタッチして
「手書き入力」を選択してください。

入力ボックスに文字を書き込みます。

次の文字を書き込むと、認識された
文字が挿入ポイントに表示されます。
文字が正しく認識されなかった場合は、
入力ボックス上の候補文字の一覧から、
正しい文字をタップします。

入力画面(4)

- キーパッドでの入力方法詳細
  - キーパッドを使って文字や数字を入力することが出来ます。

英数ボタン

機能ボタン

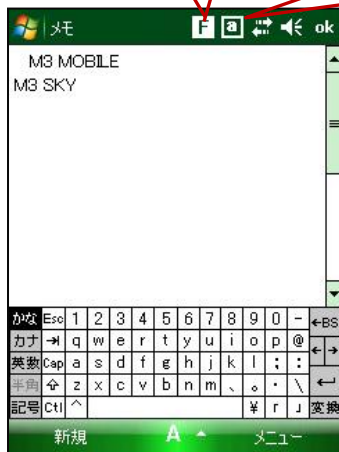
入力ボタン

機能ボタンを押すと、1ーaーA の順で表示されます。

「仮想キーパッド表示・非表示切り替えボタン」を押すと、
キーパッドが表示・非表示を繰り返します。

「Fn」キーを押すと、機能モードは
1度目 「Fn」1回モード
2度目 「Fn」持続モード
3度目 「Fn」解除モード
と切り替わっていきます。

「Fn」モードのときに「*」、「0」、「#」を押すことで「Space」、
「Enter」、「OK」のコマンドを実行することが出来ます。

「OK」コマンドは、画面右上の「OK」をタップするのと同等の
動作となります。

3. ActiveSync

- ActiveSyncの基本説明
- ActiveSyncをインストールする
  ・接続する
- データのシンクロ

ActiveSyncの基本説明

- Syncの概略
  ーSyncとは「Synchronization（シンクロナイズ）」の略で本体とPCのデータをリンクして同期させる事を意味しています。
  本体もしくはPCのデータが変更された場合、もう一方のデータも同様に最新の内容にアップデートされます
  ー全てのデータは同時にシンクロされません。Microsoft社が提供しているActiveSyncのオプション設定に基づいて
  シンクロされます。

- 本体をコンピューターに接続することで両方のデータを同期（シンクロ）させることができます。
  その他にもプログラムのインストール、コピー、移動、削除などが出来ます。

- その他のプログラムのインストール、データのシンクロ、電話帳のシンクロやバックアップ等を行うには本プログラムのインストールが必須です。

⚠ PCにActiveSyncをインストールする前にクレードルのUSBをPCに接続しないでください。
ActiveSyncに本体のドライバーが内蔵されているので事前に接続するとPCが本体を認識できなくなる恐れがあります。

データのシンクロ

- PCにあるMicrosoft ActiveSyncのウィンドウの中にオプションアイコンがあります。
  オプションアイコンをクリックすると「シンクロオプション」、「シンクロモード」、「ルール」などのタブが現れます。

- 「シンクロオプション」はシンクロする項目を選択できるメニューです。
  - コンタクト、カレンダー、電子メール、タスク、メモ、お気に入り、ファイル、メディア等。

- 「シンクロモード」はシンクロさせる方法を決めることが出来ます。
  選択されたシンクロモードにより、3つの方法があります。
  - 接続中、持続してシンクロする：このモードでシンクロを行いたい場合は本体をPCに接続してください。
    接続したらActiveSyncが自動的にPCと本体でのユーザー入力等や変更のシンクロを始めます。
  - 接続するときのみ：初めにシンクロした後に再度手動でシンクロを行いたい場合はSyncをクリックしてください。
  - 手動：このモードでActiveSyncは自動的にシンクロを行いません。シンクロを行うにはSyncをクリックしてください。

- シンクロとは本体とPCのデータを比較しデータをアップデートさせるプロセスです。
  本体の様々なデータをPCとシンクロすることが出来ます。

ActiveSyncに問題が発生した場合、下記の項目を確認してください。

- PCとクレードルの接続が正しいUSBケーブルで繋がれているか確認してください。
- M3SKY、又はLCDの電源ケーブルが正常に作動しているか確認してください。
- ソフトリセット、またはハードリセットを行った後にシンクロを行ってみてください。
  実行中のプログラムやデータを保存してからリセットを行ってください。

4.インターネットの使い方

- HSDPA経由
- 無線LAN経由
- ウェブサイトを見る

HSDPA経由(1)

- HSDPAを経由してインターネットに接続する(1)

スタート＞設定＞接続＞接続アイコンを選択する。

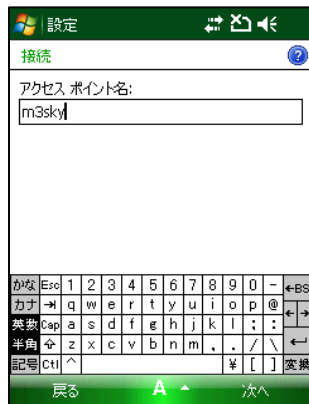
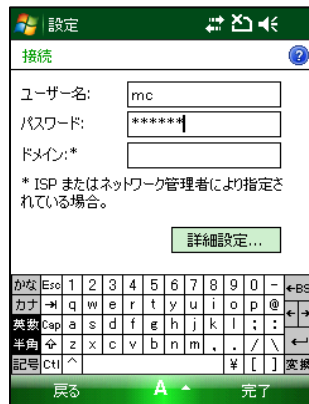
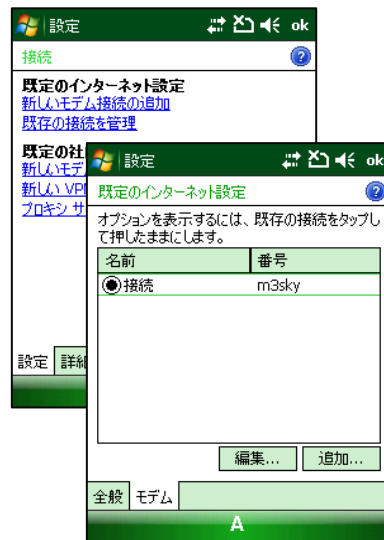
既定のインターネット設定の「新しいモデム接続の追加」を選択する。

「接続名」を入力し、「モデムの選択」には「回線交換(GSM)」を選択してください。

⚠ HSDPAのサービスはオプションです。

⚠ HSDPAモジュールがインストールされていない機種には対応していません。

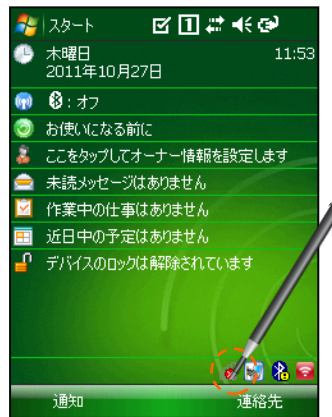
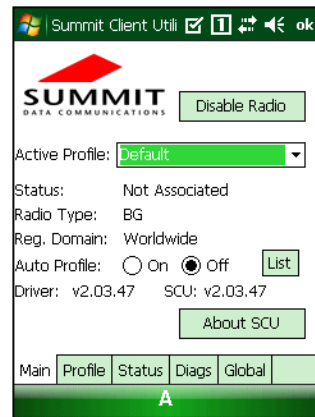
HSDPA経由(2)

- HSDPAを経由してインターネットに接続する(2)

ダイヤルする番号を入力して、「次へ」をタッチしてください。

設定通りに「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、「完了」をタッチしてください。
（詳細設定で、IPアドレスの入力が必要がある場合もあります。）

既定のインターネット設定の「既存の接続を管理」を選択します。
上図のように接続したいISPを選択してください。
*保存された設定は接続時に自動的に適用されます。

これでHSDPAを通してインターネットを見ることができます。

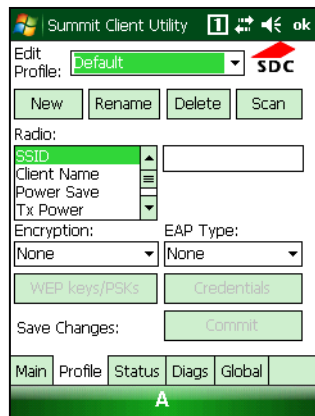
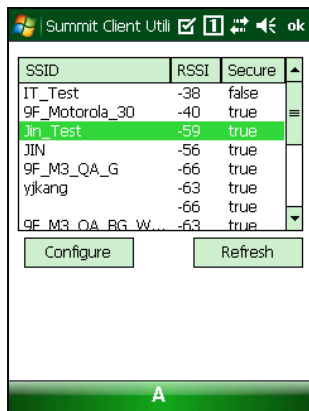
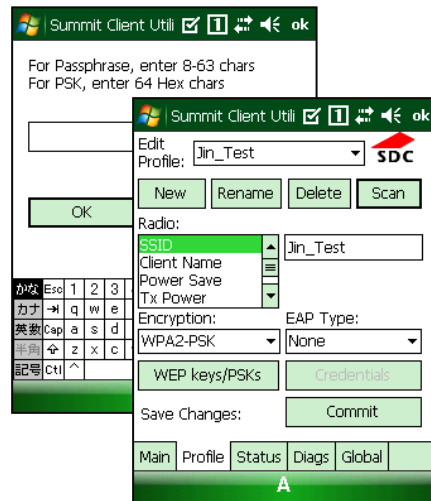
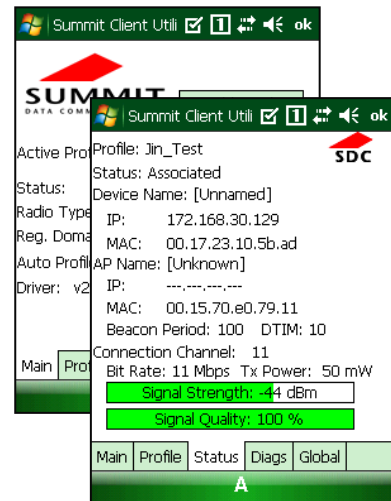
無線LAN経由(1)

- 無線LANを経由してワイヤレスネットワークをアクセスすることが出来ます。
- M3 SKYはIEEE 802.1bと802.11gに対応しています。
（アクセスポイントが設置され、正常に作動していることを前提とします）

待受画面のWLANアイコン(灰色)をクリックして「WLAN Insert」をクリックした後、WLANアイコン(赤色)と電波レベルアイコン確認

電波レベルアイコンをクリックしてSummit Client Utility画面に入ります。

Summit Client Utility (SCU)ではWLANに関する色んな設定が出来ます。

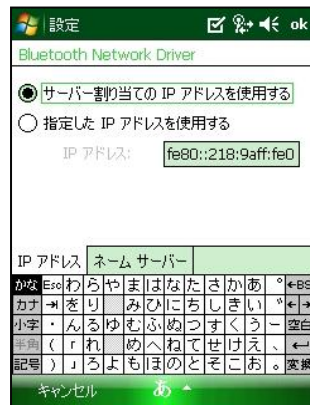
⚠ 無線LANのサービスはオプションです。
⚠ 無線LANは無線LANモジュールが内蔵されている機種のみで使用可能です。

無線LAN経由(2)

- SCUを利用して接続する。

ProFileタブのScanボタンをクリックして範囲内のAPを検索します。

接続したいAPをクリックし、Configureをクリックして AP が選択されます。確認のポップアップが出てきましたら「はい」をクリックします。

セキュリティーにかかっているAPなら暗証番号を入力してください。Commitをクリックし、確定します。

MainタブのActive Profileで先程設定したAPを選んでください。MainタブのStatusは「Not Associated」から「Associated」に変更されます。StatusタブでSUMMIT WLANが接続され、電波レベルによって赤色、黄色、緑色で表示します。

ワイヤレスLAN経由(3)

- 前のページの続き
  - DHCP・固定IPの設定

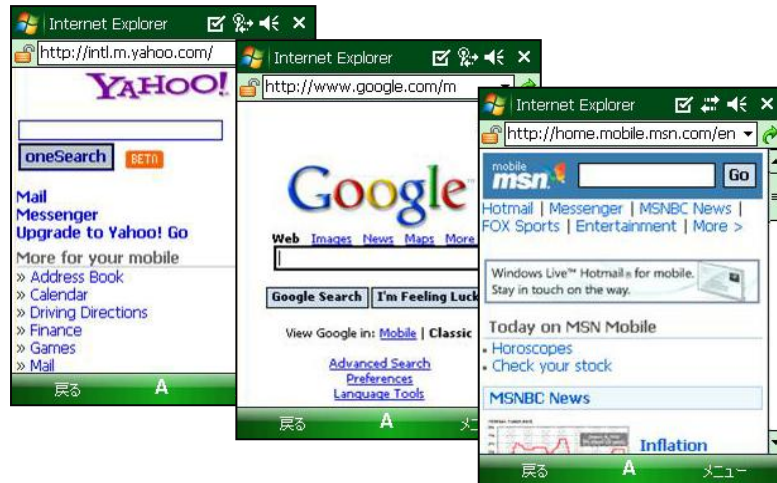
ワイヤレスLANカードのアダプターを選択して「編集」をクリックする。

IPをDHCPで設定する場合、「サーバーが設定するIPアドレスを使用する」を選択する。
IPを固定で設定する場合、「指定したIPアドレスを使用する」を選択する。

ウェブサイトを見る(1)

- Microsoft Internet Explorer
  - HSDPA、無線LAN、ActiveSyncを経由してインターネットを見ることができます。
  - インターネットにアクセスすることでプログラムやファイルなどをダウンロードすることが出来ます。

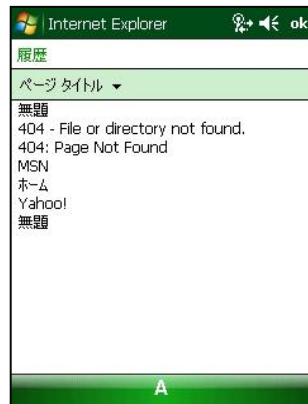
Internet Explorerの使い方

スタート＞Internet Explorerを選択する。

Internet Explorerの画面です。

上段のアドレスウィンドウに尋ねたいサイトのアドレスを入力してください。
接続しているワイヤレスネットワークを経由してそのアドレスをアクセスします。

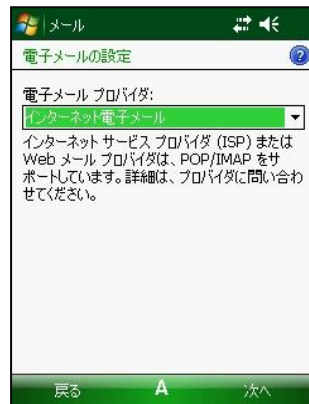
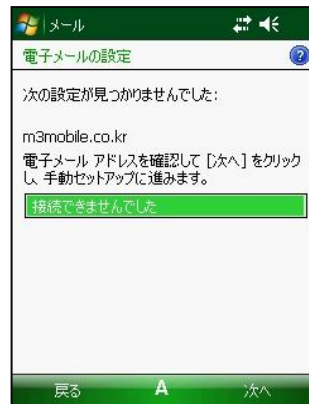
ウェブサイトを見る(2)

- 前のページの続き

画面上を長押しして、「お気に入り」をタッチすると、お気に入りに保存したサイトなどのリストが表示されます。

メニュー＞履歴... 最近訪れたサイトのリストが表示されます。この履歴のページは上図に表示されています。

⚠ Internet Explorerの使い方をより詳しく知りたい場合はヘルプメニューをスタート＞ヘルプから起動してください。

ウェブサイトを見る(3)

- メールアカウントを設定する

スタート＞メッセージングを選択する。OutlookのEメールボックスから、メニュー＞ツール＞新規アカウントを選択する。

Eメールプロバイダーを「その他」にし、「次へ」をタッチする。

「Eメールアドレスを入力してください」の項目にEメールを入力して「次へ」をタッチしてください。

ステータスを「完了」に設定し、「次へ」をタッチしてください。

ウェブサイトを見る(4)

- 前ページのつづき

Eメールプロバイダーを「その他」にし、
「次へ」をクリックする。

受信メール、送信メール、ドメインを入力し
「完了」をタッチする。
*詳細設定をする場合はオプションをタッチしてください。

設定し終えたらEメールの送信と受信が可能になります。

インターネットの使い方

ウェブサイトを見る(5)

● メールの送信と受信

＜Eメールの受信の仕方＞
メインメニューの中から「メッセージ」を選択する。
メニューの中から「送信・受信」を選択すると、受信したメールを読むことが出来ます。

＜Eメールの送信の仕方＞
「メッセージ」を立ち上げたら「新規」を選択してください。
新規メールを書き終えた後に「送信」をクリックすることでEメールを送ることができます。

5. 電話の使用方法

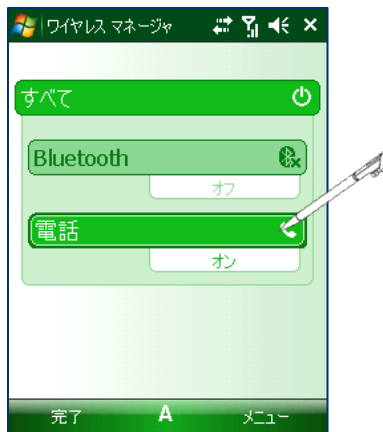
- 初期画面
- 電話制御
- 電話発信及び受信
- 連絡先
- SMS送信及び受信
- 電話機能
- 電話設定

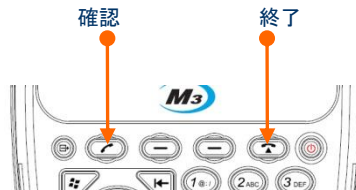
初期画面

- 電話メイン画面

プロバイダ	現在のネットワークサービスプロバイダを表示する。
入力番号	入力された数字を表示する。
接続状態	接続状態を表示する。
キーパッド	電話番号を押す際に使用され、「スピードダイヤル」にも使用される。
キーパッドを隠す	キーパッドを表示/非表示する。
ネットワークの種類	GPRSとEDGE/HSDPAの接続可能性を表示する。
HSDPA/ネットワークの状態	信号の強度を表示する。
音	ボリュームのOn/Off及びバイブレーションのOn/Offを表示する。
電話メニュー	通話、終了、スピードダイヤル、記録などのメニュー。

電話制御

● 電話プログラムのオン/オフ

「ワイヤレスマネージャー」で電話をオン/オフすることができます。

● 電話接続/終了

電話プログラムを開始/終了するには、図のように確認/終了ボタンを選択してください。

待受画面左下の「電話」ボタンを押すと、電話プログラムを実行することができます。
×ボタンを押すと、プログラムを終了することができます。

電話発信及び受信

- 電話をかける

電話をかけるには：
1. プログラムのキーパッドまたはデバイスのキーパッドを使用して電話番号を入力してください。
2. プログラムの「通話」ボタンを押すか、デバイスの「確認」ボタンを押して電話をかけてください。

電話を切るには：
プログラムまたはデバイスの「終了」ボタンを押してください。

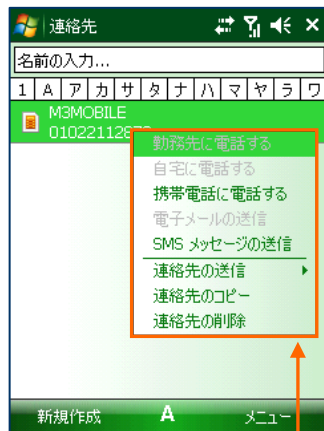
- 電話に出る

電話が着信した場合、「応答」ボタンを押して電話に出てください。
ユーザーが電話に出ることを希望しない場合、「拒否」ボタンを押してください。

連絡先

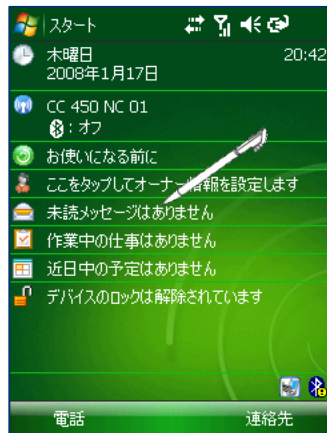
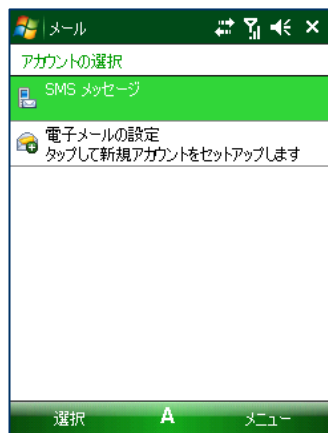
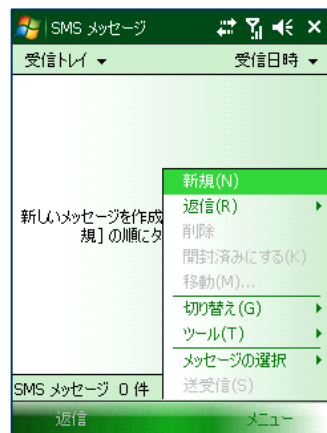
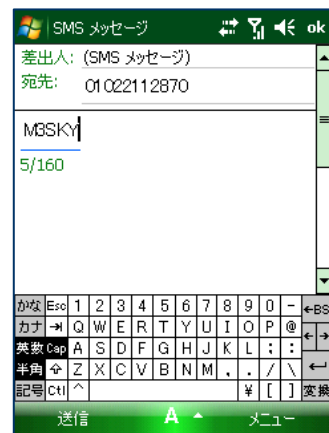
● 連絡先使用

名前または電話番号検索

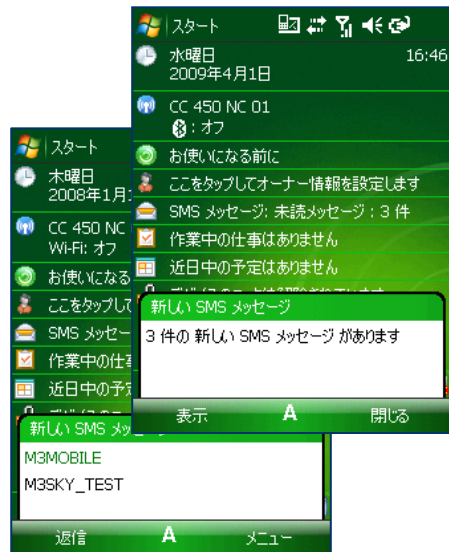
連絡先メニュー

連絡先メニュー

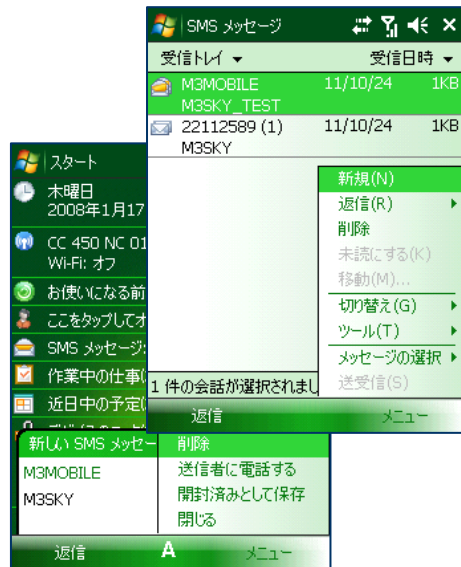
連絡先検索		電話番号または名前を入力するか、スタイラスペンで押して連絡先を検索することができます。
連絡先メニュー	新規作成	新しい連絡先入力
	編集	連絡先を編集
	連絡先の送信	ビームまたはSMSで該当連絡先情報を送信
	連絡先のコピー	連絡先をコピー
	連絡先の削除	連絡先を削除
	オプション	連絡先のためのオプション設定
	表示方法	連絡先を種類別に表示する（名前，勤務先…）
	フィルター	ご希望の情報をフィルタリング
連絡先メニュー	勤務先に電話する	該当連絡先の勤務先に発信
	自宅に電話する	該当連絡先の自宅に発信
	携帯電話に電話する	該当連絡先の携帯電話に発信
	電子メールの送信	連絡先のアドレスに電子メールを送信
	SMSメッセージの送信	連絡先の番号にSMSを発送
	連絡先の送信	ビームまたはSMSで該当連絡先情報を送信
	連絡先のコピー	連絡先をコピー
	連絡先の削除	連絡先を削除

SMS送信及び受信 (1)

- ## SMS送信

メイン画面で「メッセージ情報」メニューを選択してSMSを送信してください。または、「連絡先」や他のアプリケーションで「SMS送信」を選択してSMSを送信することもできます。

上図のように、メッセージプログラムで「SMS メッセージ」を押してください。

「メニュー」で「新規」を押してください。

連絡先とメッセージを入力してください。

「送信」を押してSMSを送信してください。

- SMS受信

3Gネットワークに接続されると、上のように新規メッセージの受信が通知されます。

受信されたメッセージの1つを押すと、上図のように独立したウィンドウにメッセージの内容が表示されます。

「新規メッセージ」通知ウィンドウまたはテキストメッセージプログラムのメニューから受信したSMSを制御することができます。

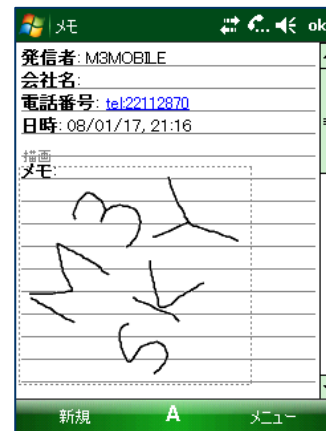
通話中の制御

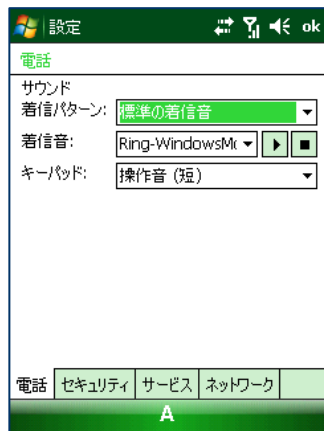
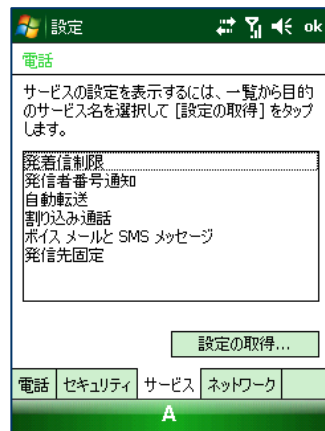
通話中に使用できる機能

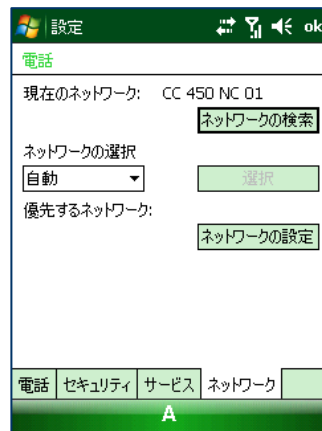
通話中に下のボタンを選択することにより、様々な機能を使用することができます。

スピーカーオン	受話器を取り上げなくても通話のできる機能
ミュート	通話中に相手にこちらの声が聞こえないようにする
保留	通話中にしばらく保留
メモ	メモ機能
連絡先	連絡先に移動
終了	通話終了

電話使用中に使用できる機能

「通話履歴」を選択すると、最近の通話リストを見ることができます。

「メモ」を選択すると、通話中にメモをすることができます。

電話設定

「スタート＞設定＞個人用＞電話」を押してください。
「電話」タブでは「音」を設定することができます。
パスワードを利用したロック機能を希望する場合は、「セキュリティ」タブの「電話使用時に暗証番号(PIN)を要求」にチェックしてください。

サービス(ネットワークまたはSIMに関する)関連情報を設定するには、「サービス」タブで設定できます。

設定
ok
電話
現在のネットワーク: CC 450 NC 01
ネットワークの検索
ネットワークの選択
自動
選択
優先するネットワーク:
ネットワークの設定
電話
セキュリティ
サービス
ネットワーク

ネットワーク(ネットワーク変更など)関連情報を設定するには、「ネットワーク」タブで設定できます。

発着信制限	特定番号からかかってきた電話を拒否
発信者番号通知	発信者ID機能をオン/オフ。オンにした場合、ユーザーの番号が受信者に表示される。
自動転送	かかってきた電話を他の番号に転送することができる
割り込み通話	通話中に他の電話を受信することができる。
ボイスメールとSMSメッセージ	SMSサービスセンター番号及びボイスメール番号を設定する。
発信先固定	PIN2を使用して電話機能を制限します。

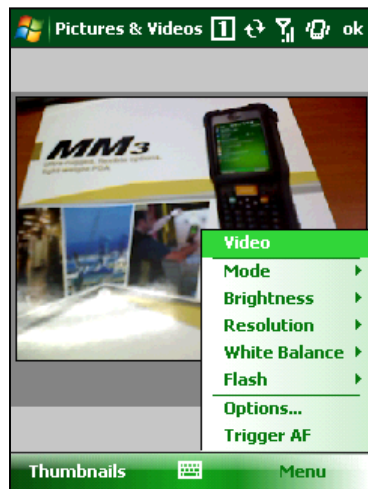
サービスメニューの説明

6.製品使用方法

- カメラ
- Bluetooth
- 赤外線
- GPS
- スキャナー
- RF-ID

カメラの使い方(1)

- 写真を撮る前に

ー本体に内蔵されているカメラは200万画素までサポートしています。

カメラプログラムの画面

機能	写真	動画	説明
モード	通常、連写、タイマー	該当無し	写真の撮影設定
明るさ	-3, -2, -1, 0, +1, +2, +3		明るさの調整
解像度	QCIF, QVGA, CIF, VGA, SVGA, SXGA, UXGA	QCIF, QVGA	サイズ設定
ホワイトバランス	自動、太陽光、くもり、蛍光灯、白熱灯		ホワイトバランス設定
フラッシュ	フラッシュON／フラッシュOFF		フラッシュの設定
オートフォーカス	オートフォーカスをつける		オートフォーカスの設定

⚠ カメラ機能はオプションです。カメラが内蔵されていない機種ではカメラ機能は使えません。

⚠ QCIF(176×144), QVGA(320×240), CIF(352×288), VGA(640×480), SVGA(800×600), SXGA(1280x960), UXGA(1600×1200)

カメラの使い方(2)

- ## カメラプログラムの立ち上げ方

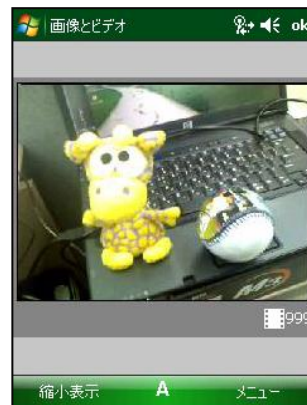
ーサイドキーのカメラボタンを押す、又は「スタート」>「プログラム」>「画像とビデオ」でカメラアイコンをタッチすることで
　カメラのプログラムを立ち上げることができます。

「スタート」>「プログラム」>「画像とビデオ」を立ち上げてください。

メニューの中のカメラアイコン、又は「画像とビデオ」の中のカメラアイコンを
タッチすることでカメラのプログラムを立ち上げることができます。

⚠ メニュー>オプション…>カメラタブで画像のファイル名、保存先、サイズなどを設定することができます。
同様にビデオタブでビデオの設定が行えます。

カメラの使い方(3)

- 写真の撮り方

カメラプログラムを立ち上げてください。
撮影したい対象を動かしてピントを合わせてください。
カメラボタンを押して撮ってください。
カメラボタンを立ち上げてしばらく操作を行わず放置すると
プレビューモードからスタンバイモードに切り替わります。
プレビューモードに戻るには画面をタッチするかカメラボタンを
押してください。

撮影した画像は画面に表示されます。
またカメラプログラムを立ち上げたい場合は、下のカメラボタンを押す、
又はウィンドウの左側のカメラアイコンをタッチしてください。
カメラの撮影モードでサムネイルをタッチすることで以前撮影した写真を
確認することができます。

カメラの使い方(4)

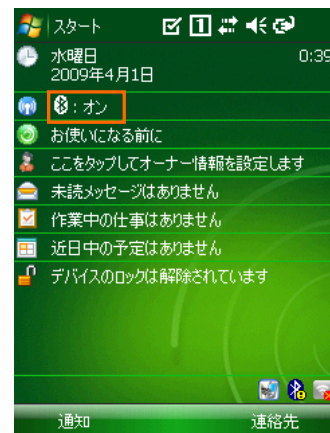
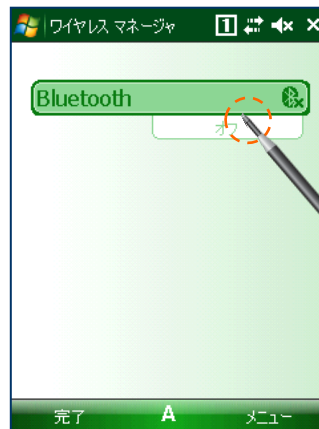
● ビデオの撮り方

ビデオを撮影したい場合はカメラプログラムを立ち上げた後にメニューからビデオをタッチしてください。

停止(停止ボタンをタッチ)、又は一時停止(一時停止ボタンをタッチ)撮影中ビデオの中断が行えます。

撮影したビデオを見たい場合、サムネイルを選択してビデオをリストで表示します。
見たいビデオを選択したら撮影したビデオが見られます。

Bluetooth通信 (1)

- BluetoothのOn/Off

待受画面で「ワイヤレスマネージャー」を選択するか、「スタート＞設定＞接続」の「ワイヤレスマネージャー」を選択してください。

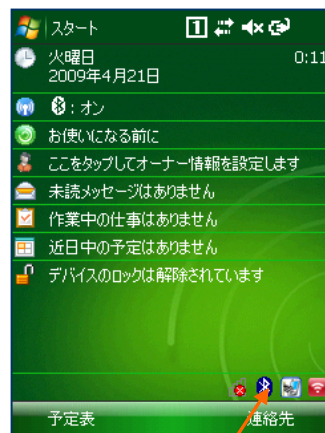
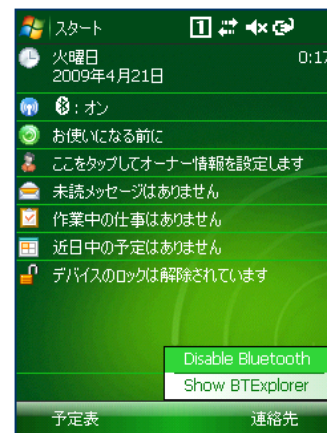
Bluetoothをオン、オフするには、「ワイヤレスマネージャ」のBluetoothを軽く押してください。

ブルートゥースの状態は待受画面のワイヤレスマネジャで見ることができます。

⚠ Bluetooth機能はオプションです。Bluetooth機能が対応していない機種にはBluetoothサービスを使用することができません。

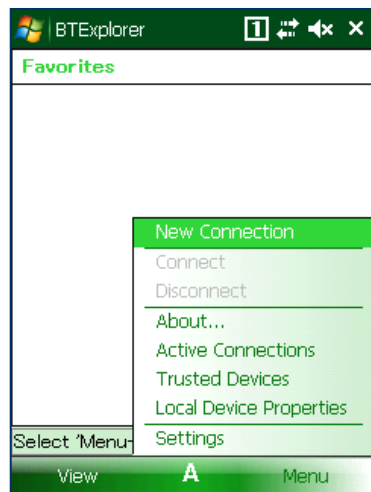
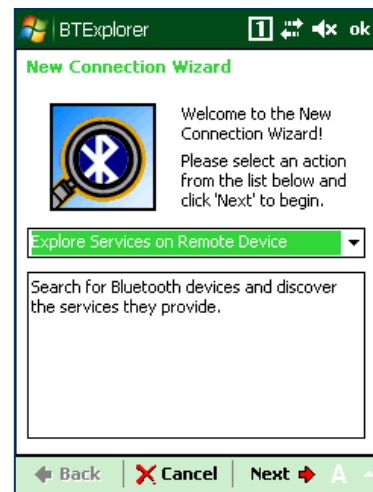
⚠ Bluetoothはウィンドウズモバイルデバイスと直列接続サービス間のファイルの送信と受信をサポートします。

- BluetoothのOn/Off (続き)

スタート＞設定＞ネットワーク接続＞Bluetoothをクリックするとbluetoothのモード設定・接続ができます。

下のBluetoothアイコンを長く押すと、メニューが表示されます。

メニューのShow BTExplorerを押すと、BTEexplorerのWizard Mode画面が表示されます。

- Wizard Modeで新しい接続

  - New Connection Wizardを使用してBluetooth機能を有する周辺機器と接続し、お気に入りに接続パスを保存します。

1. BTExplorerを実行します。

2. BTExplorerメニューのNew Connectionアイコンをクリックします。

3.ドロップダウンメニューから「Explore Service on Remote Device」を選択します。

Bluetooth通信 (4)

- Wizard Modeで新しい接続(つづき)

4. BTExplorerは周辺機器検索を始めます。

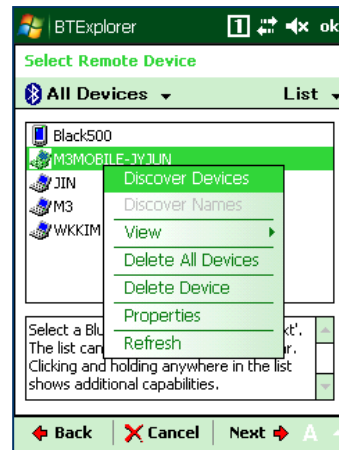
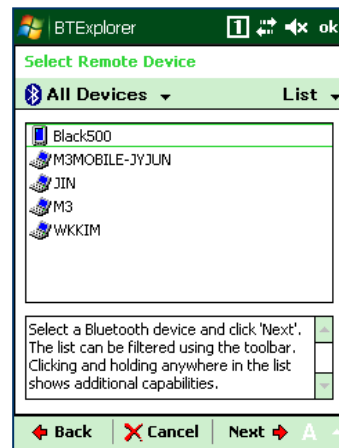
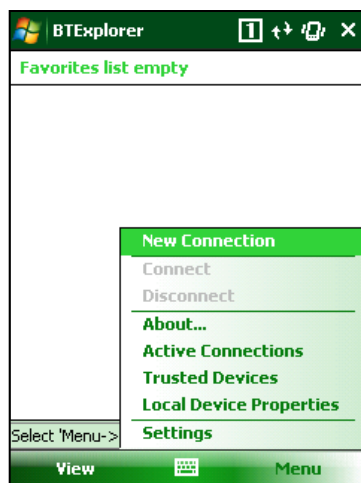
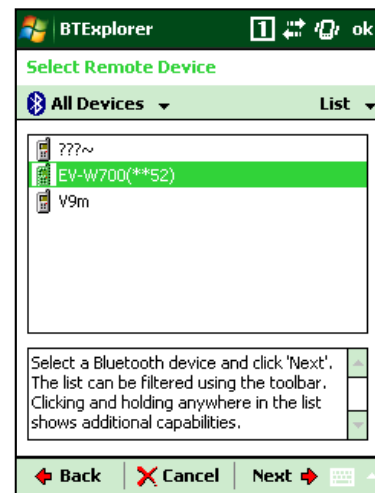
5. 反応がない場合、または再検索する場合は、All Devices画面を長く押して
   Discover Devicesを選択します。

6. 接続しようとする周辺機器を押すとアイコンが選択されます。
   Nextを押して次の段階に進みます。

7. 画面に表示される周辺機器アイコンから接続する接続タイプを選択します。

8. お気に入りの接続のためにはSave as Favoriteの横のボックスをチェックします。
   接続された名称を変更するには、Favorite Name項目に新しい名前を記載して
   Nextを押します。

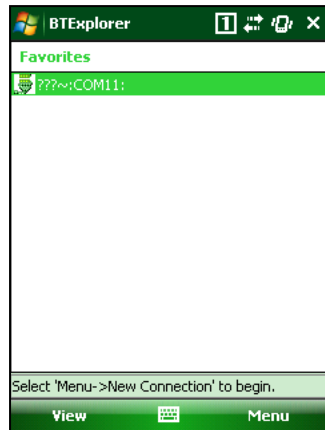
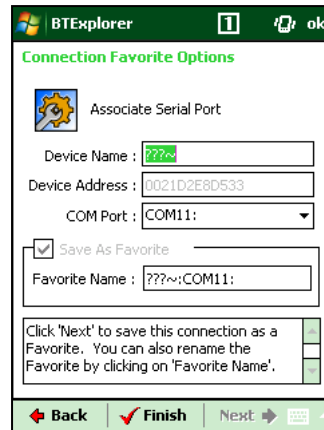
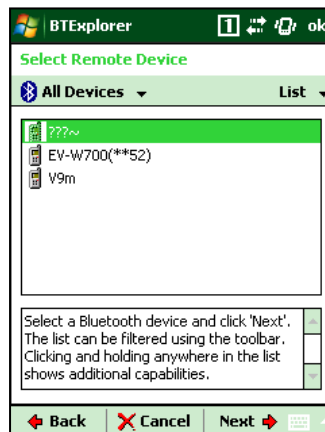
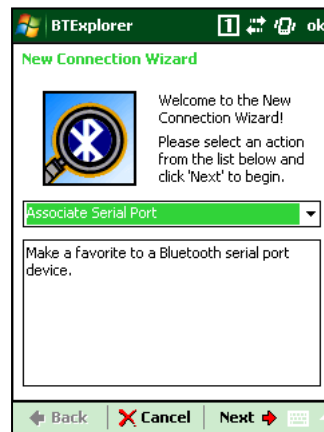
9. Connectを押して周辺機器を接続します。
   特定の周辺機器の詳細な説明は、各接続タイプに関する情報をご参照ください。

Bluetooth通信 (5)

- ブルートゥース周辺機器との接続

1. New Connectionアイコンを押します。
2. 「Pair with a Remote Device」項目をドロップダウンメニューから選択してNextを押します。
3. 接続する周辺機器を選択してNextを押します。
4. PIN Code画面でPIN Code値を入力します。また、他の接続する周辺機器にも同じPIN Codeを入力します
5. Finishを押します。

Bluetooth通信 (6)

- シリアル装置接続

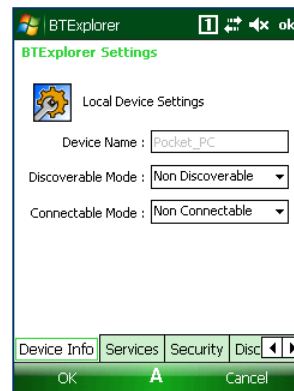
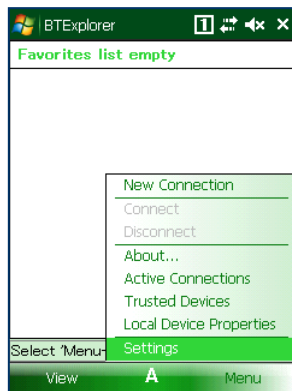
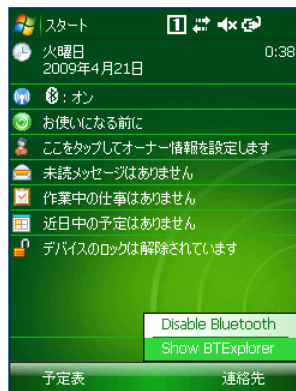
- ブルートゥースを使用してシリアル装置とシリアル接続をすることができます。
- ブルートゥースシリアル通信時に2つのポートをサポートします。
  - アウトバウンドポート: COM8, COM9
  - インバウンドポート: COM4

1. Wizard Modeで、File→New Connectionをクリックします。
2. ドロップダウンメニューから「Associate Serial Port」を選択します。
   Nextを押します。
3. リストから接続する機器を選択します。
   Nextを押します。
4. BTExplorerは自動的に接続を試み、接続可能なサービスリストが表示されたら、「Bluetooth Serial Port」を選択してNextを押します。
5. お気に入り名を変更する際はFavorite Nameをクリックして新しいお気に入り名を入力します。Nextを押します。
6. Connectを押します。

Bluetooth通信 (7)

- **Settingメニュー説明**

- ブルートゥースに関するすべての設定事項を変更することができます。

1. Device Info
   - Device Name：他装置に表示されるこの装置の名前です。名前変更はコントロールパネルで可能です。
   - Discoverable Mode：他装置がこの装置を検索する際に検索可能/不可能を設定します。
   - Connectable Mode：他装置がこの装置に接続を試みる際に接続可能/不可能を設定します。

2. Services：この装置がサーバーとしてサポートできるサービスを登録/解除します。
   登録、解除により、他装置でこの装置のサービスを提供できたり、提供できなかったりします。

- Settingメニュー説明(つづき)

3. Security
  - Use PIN Code：他装置からこの装置にアクセスする際に使用される暗号を設定します。
  - Encrypt Link On All Outgoing Connections：他装置に接続されるすべてのリンクを暗号化します。

4. Discovery
  - Inquiry Length：探索時間を設定します。
  - Name Discovery Mode：他のBT装置の探索時に該当装置の名前を自動検索するか否かを設定します。
  - Delete devicesボタン：すべての探索された装置のリストを削除します。
  - Delete Link Keys：すべてのお気に入りリンクを削除します。

5. Virtual COM Port：ブルートゥースで使用する仮想COMポートを設定します。

6. HID：ブルートゥースキーボード、ブルートゥースマウスなど、ヒューマンインタフェース装置の繰り返し速度を設定します。

7. Profiles：この装置がサーバーとしてサポートできるサービスを基本的に有効または無効にします。
   Settingメニューの Servicesタブで追加できるサービスリストがこの設定により決定されます。

8. System Parameters：ページ表示時間制限及びリンク監視時間制限を設定します。

9. Miscellaneous：接続されたサービスの表示処理を設定します。

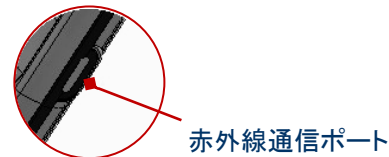
赤外線

- 赤外線経由で接続する

M3SKYは赤外線通信のOBEXプロトコールに対応しているデスクトップ、ノートパソコン、ポケットPC、PDAと赤外線通信を行うことができます。

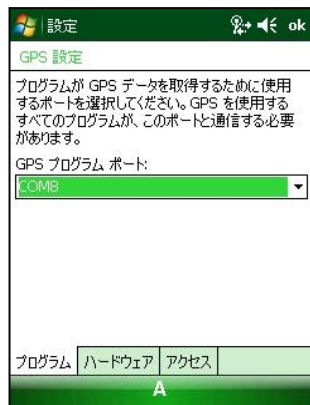
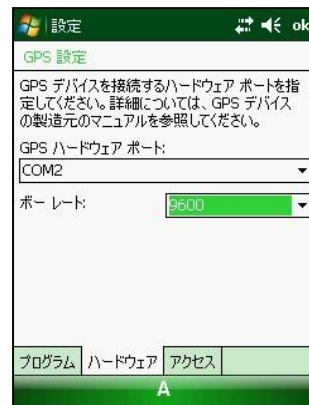
＊　赤外線通信の使い方

・ 赤外線通信を確立したいデバイスの赤外線通信ポートを特定してください。
・ クイックリンクアイコン＞赤外線通信メニューを選択してください。
・赤外線通信プログラムが立ち上がり接続が確立されたらデータの交換が可能になります。
・ プリンター等との直列接続を確立したい場合はCOMポートを接続することで接続が可能です。

※なるべく短い距離で通信を行うことをお勧めします。
短い距離のほうがデータの通信速度が速くなります。

⚠ 赤外線通信ポートはオプションです。赤外線通信ポートの無い機種はこの機能を使用することはできません。

GPSの使い方（1）

- GPSの設定
  - スタート＞設定＞システム＞GPSをタッチするとGPSの設定が可能です。

システムタブからGPSを
選択してください。

割当してないGPSプログラムポートを
選択してください。
(COM0またはCOM8)

ハードウェアポートを設定してください。
M3 SkyのGPSハードウェアポートは
COM2で通信速度は9600です。

⚠ GPS機能はオプションです。GPSモジュールが内蔵されていない機種にはGPS機能を使用することはできません。

GPSの使い方(2)

- **GPSの接続**

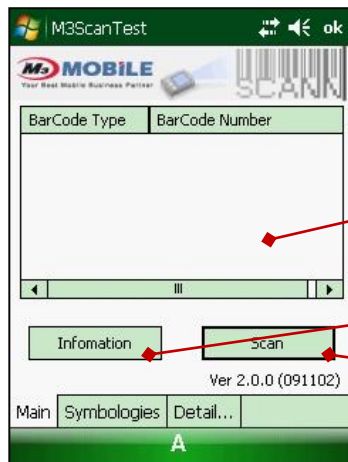
–GPSプログラムが一つのみの場合GPSハードウェアポート(COM2)を使ってください。
–GPSプログラムが一つ以上の場合、あらかじめ設定されたGPSプログラムポートを使ってください。

使用したいGPSプログラムを
立ち上げてください。

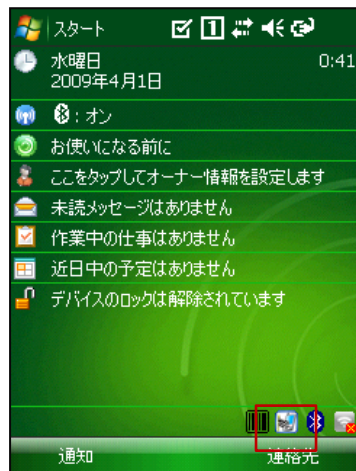
GPSは現在位置の検索など、様々な
用途で使用できます。。

GPSのサンプルマップはM3Mobileの供給ではありません。

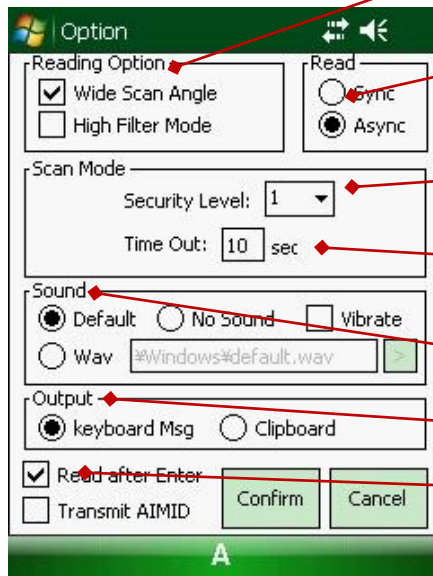
スキャナの使い方(1)M3スキャンテスト

- このプログラムはスタート＞ファイルエクスプローラ＞Flash Disk＞Scannerにあります。

製品使用方法

スキャナの使い方（2）ScanEmul

- このプログラムはスタート＞ファイルエクスプローラ＞Flash Disk＞Scannerにあります。

ScanEmulのプログラムを立ち上げると
プログラムのアイコンが画面の下段に
表示されます。

バーコードアイコンをクリックすると
詳細のメニューが表示されます。

スキャナの使い方(3)ScanEmul

走査ビームの幅を調整します。
Wide Scan Angle ： 走査ビームの幅は広くなり、正確度が低い。
High Filter Mode ： 走査ビームの幅は狭くなり、正確度が高い。(速度は多少遅くなる)

Sync :スキャンキーを押すと設定したタイムアウトにバーコードがスキャンされるまで維持する。
Async :スキャンキーを押してる間、又はタイムアウトするまで走査ビームが発信される。

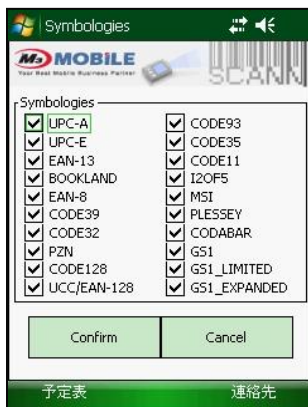
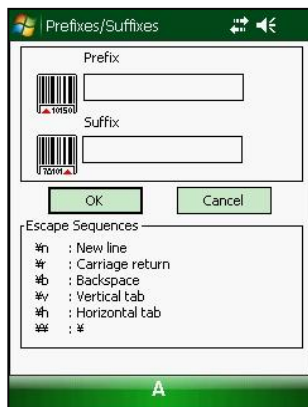
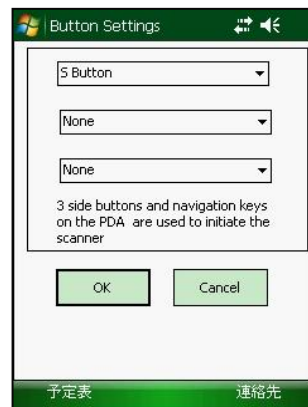
セキュリティーレベル:スキャンしたデータを確認する回数
(例:2回で設定すると、2回スキャンを行いデータが合ってるか確認します。)

タイムアウト:設定した時間が経ったら、走査ビームが発信されます。

音:音の設定が可能です。無音・振動モードもあります。

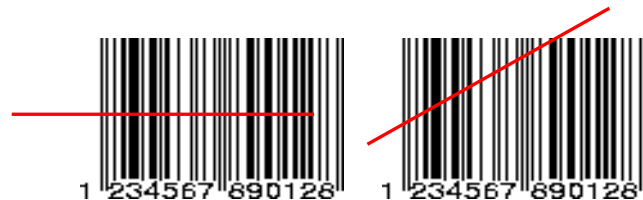
出力:出力方法が設定できます。

チェックすると、バーコードデータの読取しれからエンターコードが表示されます。

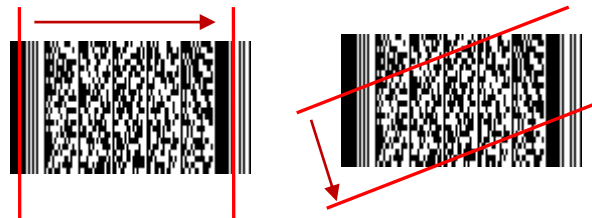
スキャナの使い方（4）ScanEmul

Symbologies
チェックすると、有効になります。
読取のバーコードが設定できます。

Prefixes/Suffixes
バーコードデータの最初と最後に
配置される、接頭・接尾コードが
設定できます。

Sutton Settings
スキャンを開始するボタンが
設定できます。

スキャナの使い方(5)

- スキャナの使い方
  - 1Dスキャナの使い方 (MC-7100S, MC-7500S)

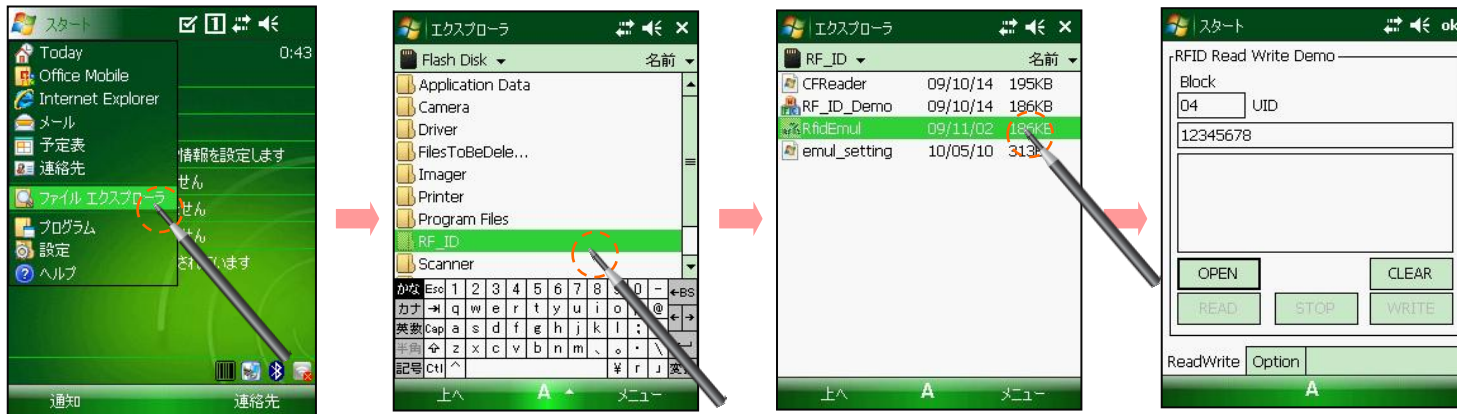
正しいやり方

間違ったやり方

  - 2Dスキャナの使い方 (MC-7700S)

正しいやり方

間違ったやり方

⚠ スキャナー機能はオプションです。スキャナーに対応してない機種ではスキャン機能を使用することはできません。

RFIDの使い方（1）

- RFIDの接続
  - スタート＞ファイルエクスプローラ＞Flash Disk＞RF_IDを選択します。
  - RF_ID_DemoとRfidEmulを選択すると、該当テストプログラムが起動します。

RFIDの使い方(2)

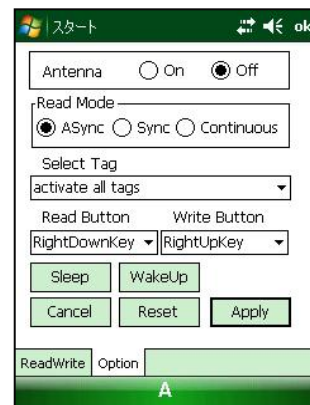
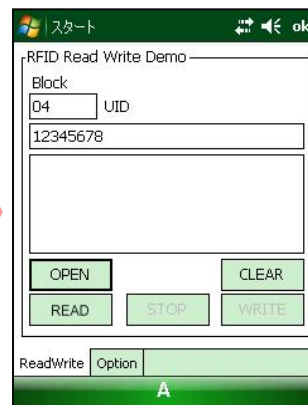
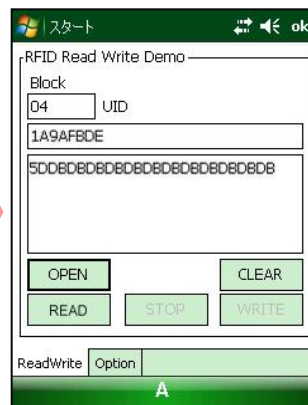
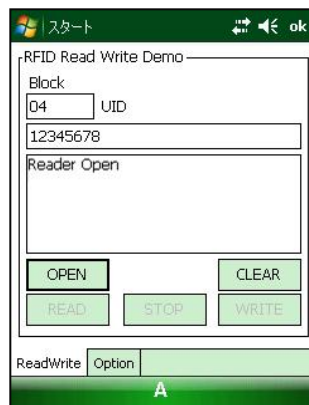
- RFIDの接続

ー最初「OPEN」をタッチし読込準備をします。端末の背面に付けてあるリーダーをタグに近づけて「READ」をタッチしたらRFIDリーダーがタグを読込みます。

ーOptionの読込モード(READ Mode)は3つあります。

Async - アンテナ範囲内にタグがあればタグを読込み、タグがなければ読込みを終了します。

Sync - アンテナ範囲内のタグを検知するまで読込みます。

Continuous - 「STOP」をタッチするまで連続的にタグを読込みます。

「Select Tag」では「activate all tags」で設定されています。

⚠ Sync、Continuousモードでは電池の消耗が激しくなります。

RFIDの使い方(3)

- 対応タグ

タグ	メーカー	シリアル番号	読み取り	書き取り	送信命令	備考
ISO 14443 A						
MIFARE® Standard	NXP	V	V	V	V	-
MIFARE® 4k	NXP	V	V	V	V	-
MIFARE® Ultralight	NXP	V	V	V	V	-
MIFARE® ProX	NXP	V	V	V	V	-
MIFARE® DESFire	NXP	V	-	-	V	-
MIFARE® Mini	NXP	V	V	V	V	-
SLE66CLX320P	Infineon	V	-	-	V	暗号化を含まない
SLE 55R04 / 08	Infineon	V	-	-	V	暗号化を含む
Smart MX	NXP	V	-	-	V	-
Jewel	Innovision	V	V	V	V	-
Topaz	Innovision	V	V	V	V	-
ISO 14443 B						
SLE6666CL160S	Infineon	V	-	-	V	-
SR176	STM	V	V	V	V	-
SLIX 4K	STM	V	V	V	V	-
ASK GTML2 ISO	ASK	V	-	-	V	-
ASK GTML	ASK	V	-	-	V	extended setup needed
Sharp B	Sharp	V	-	-	V	-
TOSMART P0032/64	Toshiba	V	-	-	V	-

⚠ RFIDはオプションです。RFIDの無い機種はこの機能を使用することはできません。
⚠ 対応周波数:13.56MHz

RFIDの使い方（4）

- 対応タグ

タグ	メーカー	シリアル番号	読み取り	書き取り	送信命令	備考
Dual Interface						
ISO 14443 A compliant1	various	V	-	-	V	
ISO 14443 B compliant2	various	V	-	-	V	
ISO 15693						
EM 4135	EM	V	V	V	V	
ICode® SLI	NXP	V	V	V	V	
LRI12	STM	V	V	V	V	
LRI64	STM	V	V	V	V	
LRI128	STM	V	V	V	V	
LRI2k	STM	V	V	V	V	
SRF55VxxP	Infineon	V	V	V	V	
SRF55VxxS	Infineon	V	V	V	V	
Tag-it™ HF-I Std	TI	V	V	V	V	
Tag-it™ HF-I Pro	TI	-	-	-	V	
TempSense	KSW	V	-	-	V	
Icode						
ICode®	NXP	V	V	V	V	
ICode® EPC	NXP	V	V	V	V	
ICode® UID	NXP	V	V	V	V	

⚠ RFIDはオプションです。RFIDの無い機種はこの機能を使用することはできません。
⚠ 対応周波数：13.56MHz

製品使用方法

www.m3mobile.co.kr